

1 平成21年度嬉野市の学校評価

(1) 嬉野市の学校評価は、楽しい学校のための「学校改善」が目標です。

社会環境の変化に伴い、学校の課題解決には学校だけの対応では難しい面が出てきています。そこで、専門家や地域の方々の指導、支援を仰ぎながら、様々な立場や多くの視点からのご協力を得ることがさらに必要になっています。

嬉野市の学校評価は、学校の課題を解決するために、様々な視点からのご意見、ご支援をいただきながら、学校改善を進め、学校の活性化を目的としています。学校評価を学校・保護者・地域との連携手段として、特に、学校の情報発信による学校理解を進め、説明責任を果たして、学校への信頼のさらなる獲得をめざしています。

特に、学校関係者による客観性のある、学校外の視点からの評価によって、内部では気づかなかった点や地域で子どもたちを育てる点からもご指摘をいただくことを願っています。学校自己評価を補完する意味での学校関係者評価です。

子どもたちにとって「とても楽しい学校」、保護者にとって「行かせたい学校」、地域にとって「行ってみたい学校」をめざしています。



(2) 嬉野市の学校評価のポイントは、「学校関係者評価」と「情報提供」

学校の独自性を生かし、学校関係者による学校評価からの学校改善

(サブテーマ) ～ 学校評価を念頭においた情報提供の進め方 ～

(3) 嬉野市の学校評価は、次の「5つの基本方針」をもとに進めています。

① 学校関係者評価による客観性のある学校評価

学校自己評価に、客観性、透明性を付与する、つまり「補完する」というスタンスの学校関係者評価から、迅速な学校改善をめざします。

② 情報提供による学校理解から、学校改善を進める学校評価

適切な情報提供によって説明責任を果たし、学校のことを理解していただき、信頼を得てよりよい学校をめざします。

③ 学校教育目標と連動した教職員全員参画による学校評価

学校教育目標に基づき、教職員が参画意識を持ち、一枚岩になって、よりよい学校をめざします。

④ 地域と一体化して、地域へ開いて出る学校評価

家庭・地域と学校が共通理解して、積極的に地域に出て行く学校をめざします。

⑤ 9年間を見通した小中連携による学校評価

小中学校9年間を見通し、よりよい学校づくりをめざします。

嬉野市がめざす学校の姿

子どもが楽しい学校
子どもが行きたい学校

親が行って楽しい学校
親が行かせたい学校

先生が楽しい学校
先生が働きたい学校



子どもたちも
重要な評価者

学校力の構築

学校ビジョン

基本方針
①～⑤

③教職員全員参画

組織力

⑤小中連携

学校関係者
評価

第三者
評価

①客観性のある評価

①客観性のある評価

P : PLAN 計画
D : DO 実行
C : CHECK 評価
A : ACTION 改善

学校評価PDCA

子どもたちのための学校評価の開発

② 情報提供

④地域と一体化

保護者・地域のニーズ